

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-106	小学校	国語科	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	国語 111 国語 112	ひろがることば ひろがることば	しょうがくこくご しょうがくこくご	一上 一下

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



私たちは、言葉のなかに生きている

子どもは言葉のなかで成長していきます。

子どもが「言葉」と出会い、その「言葉」がさらに新しい「言葉」との出会いを生みだしていく。

学びは子どもの世界を広げ、生きる力を育みます。

1
「学び」が
見える

2
「学び」が
わかる

3
「学び」が
生きる



「学びたい！」を全ての子どもたちに。
三つの願いがこの教科書にこめられています。

特色

1 学ぶことを楽しめるように —— 「学びが見える教科書」

入学したばかりの子どもたちが無理なく安心して学ぶために、学習の目標を知り、見通しを立てたり振り返ったりして、学びの道筋を見つけることが必要です。こうした学習を積み重ね、学びが深まり、学ぶ楽しさが生まれます。

特色

2 学び合いを深められるように —— 「学びがわかる教科書」

子どもたちが主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがなければなりません。子どもたちが、仲間と対話を重ね、協働して学びを深めていく。学ぶ楽しさを実感しながら、何のために、何を学んでいるのかを自覚することで、学習が深まります。

特色

3 学びで世界を広げられるように —— 「学びが生きる教科書」

子どもたちは知らなかったことを新たに知ることが大好きです。国語科で学んだことを他教科の学びや実生活に生かしていくことで、子どもたちの世界が広がります。学んだことが生かされていくなかで、子どもたち一人一人の、未来を切りひらく言葉の力が育まれていきます。

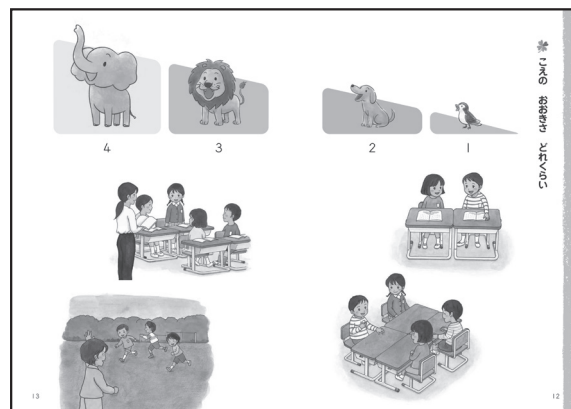
1 学ぶことを楽しめるように ――「学びが見える教科書」



―上表紙裏『なかよしの みち』

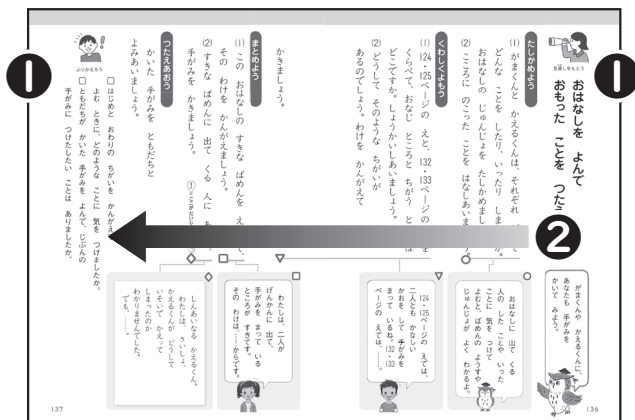
わくわくする言葉の学びへ誘う「入門期」

- 第1学年上巻では、スタート・カリキュラムを意識した教材により、生活科や書写と連携した**合科的な指導**が可能です。
- 無理なく、安心して学習することのできる「入門期」教材により、子どもたちの言葉の学びへの期待感が高まり、学びの扉が開かれます。



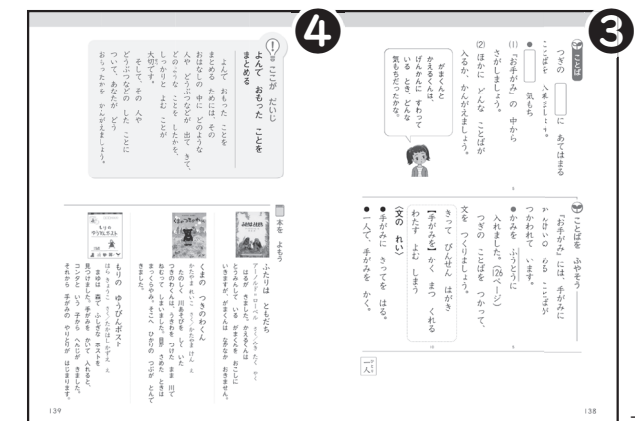
―上p12『こえの おおきさ どれくらい』

学び方が見える、子どもたちが見通しをもてる「学習のてびき」



- ①学習のめあてと振り返りを照応させることで、**学習の大きな流れ**がつかめます。めあての下には、どのような言語活動を通じて学ぶのかを明示しています。

学習のめあてで**どのようなことを学ぶのかを明確にし、この教材で学んだことがどのようなことだったのか、指導事項と言語活動の二つの観点で振り返ります。**



- ②学習指導要領の4ステップをもとに学習内容が示されています。下段には、学習を支えるさまざまな思考ツールや子どもの反応例が示され、子どもが**学習を進めるためのガイド**となっています。
- ③二見開きめには、文法的な視点から読みを深める問いと語彙の拡充を意図したコーナーを設置しています。
- ④汎用性のある学習のポイント「**ここが大事**」や、読書へのいざない「**本を読もう**」により、**学習を実生活へ広げ**ることができます。

―下p136『お手がみ』てびき

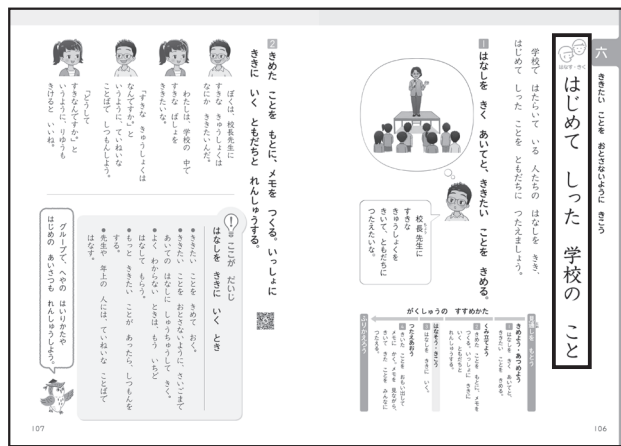
2 学び合いを深められるように ――「学びがわかる教科書」

子どもたちの身のまわりにある課題に、共に向き合う教材

- 子どもたちにとって**取り組む必要を感じられる課題**に向き合うことにより、主体的に課題を解決しようという意欲をもって学習に取り組むことができます。
- 多様で活発な言語活動に取り組める教材を設定しました。日常のさまざまな場面で**生きてはたらく言葉の力**を養います。
- こうした学習を通じて、子どもたちは、論理的に思考し説得力のある文章やスピーチにまとめる力を高めることができます。他者と協働・協調して、変化の激しい時代を生き抜くための**言葉の力を育む**ことにつながります。



一下 p20『「のりものカード」で しらせよう』

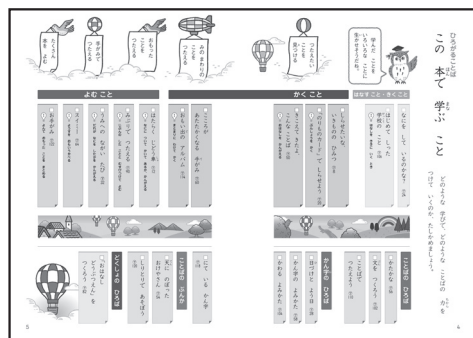


一下 p106『はじめて した 学校の こと』

言語活動の具体的な場面を、イラストや図版でわかりやすく示しています。子どもたちは、それぞれのステップでどのように活動すればよいのかがわかり、**楽しみながら学習**を進めることができます。

3 学びで世界を広げられるように ――「学びが生きる教科書」

言葉の学びが実感でき、生きた言葉の力が身につく



- 学びの主役は子どもです。子どもは、教科書を通じてさまざまな言葉と出会い、確かな言葉を使えるようになるための「言葉の旅」をしていきます。
- この教科書では、子どもたちが日常の生活を営むうえで必要な言葉の力を育むよう、知識・技能や各領域の学習が設定されています。子どもたちは、言葉の学びを実感しながら、他教科の学習など**実生活に生きる言葉の力**を身につけていきます。
- 第1学年下巻の冒頭にある『ひろがることば この本で 学ぶ こと』で、どのようなことを学習するのか見通せます。
- 巻末には、どんなことを学んだのか、また、学んだことをどのように生かすことができるのか、アウトプットする活動を設定しています。子どもは、学んだことや身につけた言葉の力に気づき、**実生活に生かしていこう**という意欲を高めます。

上：一下 p4『ひろがることば この本で 学ぶ こと』

下：一下 p140『ひろがることば これまで これから』

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
1年言語教材	平仮名、片仮名、言葉や漢字の教材では、文字の読み書きを習得することにより、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	上26－27など
くまさんと ありさんの ごあいさつ	挿絵や文字の大きさなどによるイメージの違いを楽しみながら、挨拶を通して、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。〈第1号〉	上28－31
1年読書教材	図書、図書館に親しむ活動を通して、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	上34－35など
1年「話すこと・聞くこと」教材 1年「書くこと」教材	身のまわりのものやできごとを題材に、短い文章を書いたりお話をしたりすることで、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。〈第1号〉	上116－119 など
はたらく じどう車	身近な自動車のはたらきや構造を理解することで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	下12－19
けむりの きしゃ	おじいさんが流れ星を助けるお話を読むことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉	上42－47
おおきな かぶ	音読や動作化を楽しみながら読解を深め、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。〈第2号〉	上82－91
はじめて した 学校の こと	学校で働く人たちから話を聞き、聞いた話を友達に伝える学習を通して、勤労を重んずる態度を養うようにしました。〈第2号〉	下106－109
(入門第一教材) なかよしの みち	友情・出会い・協力・集団の形成を象徴的に描いた児童を主人公とするファンタジー的な絵話を学習することにより、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。〈第3号〉	上表紙裏－5
入門期「話すこと・聞くこと」教材	声を出し合ったり、聞き合ったりして、コミュニケーション能力を養うことにより、自他の敬愛と協力を重んずるようにしました。〈第3号〉	上6－7など
スイミー	主人公の自己発見と自己実現が読者の共感を呼ぶ物語を読むことにより、自他の敬愛と協力を重んずるようにしました。〈第3号〉	下64－81
みぶりで つたえる	社会形成の参画に最も基本となるコミュニケーション能力について、特に、ノンバーバルコミュニケーションといわれる身ぶりやしぐさに焦点を絞って、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。〈第3号〉	下90－101
お手がみ	友達どうしが手紙で気持ちを伝え合う物語を読むことにより、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育てるようにしました。〈第3号〉	下122－139
すずめの くらし だれが、たべたのでしょうか	身近な鳥である雀の暮らしぶりや、自然の中で見つけることができる動物の食餌の痕跡を知り、もっと知りたい、実際の自然にふれてみたいという意欲を喚起することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。〈第4号〉	上58－63 上108－115
あめの うた ゆき	音読を通して雨や雪の美しい情景を味わい、思い浮かべることで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。〈第4号〉	下6－7 下86－88
うみへの ながい たび	海までの長距離を旅するシロクマの親子の物語を読むことにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。〈第4号〉	下32－49
おはなしの くに	よく知られた日本や外国の昔話に接することで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てるようにしました。〈第5号〉	上75－81
けんかした 山	二つの山の争いが動物たちに迷惑を与え、みんなの力でそれが解決されるという物語を読むことにより、他を尊重し、平和と発展に寄与する態度を育てるようにしました。〈第5号〉	上98－104
天に のぼった おけやさん しりとりで あそぼう	展開の意外性が楽しめる民話の読み聞かせを聞いたり、古くから伝わるしりとり遊びをしたりすることにより、伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛する態度を養うようにしました。〈第5号〉	下54－55 下120

3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

学習・指導への配慮

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

特別支援教育への配慮

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、学びのステップを常に確認できるように、「学習の進め方」の欄を設け、児童が学習の見通しをもち、本時で何を学習するかがわかるように配慮しています。

カラーユニバーサルデザイン

色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。

教科書体・硬筆体

活字は、文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、力強い教科書体を用いました。また、巻末の漢字一覧で掲出している硬筆体は、書写教科書の筆者の字を使用し、学習上の関連を図っています。

ま

オリジナルフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインに配慮したオリジナルフォントを使用しています。

分かち書き・文節での改行

児童が読む際に負担とならないよう、分かち書きで表記しています。改行位置に配慮し、言葉のまとまりを捉えられるようにしています。

交ぜ書きの回避

熟語の形で提出したほうが定着しやすいものは、過度な負担とならないよう考慮しながら、上位学年の漢字であっても適宜振り仮名を使用し、違和感のある交ぜ書きをできるだけ避けるように配慮しています。

デジタル機器を使用した学習への配慮

「まなびリンク」との連動

紙面上の二次元コードを通じた、ウェブサイトや学習時に参照できる資料等により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。
(例：児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等)



タブレットPC等の活用

発達段階に応じた、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容で特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。

造本・装丁での配慮

製本

製本は、長期間の使用に耐える堅牢な方式を採用しています。

表紙・用紙・印刷

表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングを採用、紙は軽量ながら裏移りのない再生紙を使用、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。

カリキュラム・マネジメントへの対応

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟な扱いが可能なよう配慮し、他教科の学習を支えることができるよう考慮しています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることは、実生活で生きてはたらく言葉の力を育むことにつながります。[上巻 p56 『よくみて かこう』など]

その他

上下巻2分冊構成

児童の身体の発達状況を考慮して、1冊あたりの重量が軽い上下巻2分冊の教科書にしています。半年ごとに新しい教科書に出会い、気持ちを新たに学習に取り組むことができます。

人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストや図版も含め教科書内の表現に配慮しています。

ESD・SDGsへの取り組み

現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育てることができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。[上巻 p108 『だけれど、たべたのでしょう』、下巻 p8 『しらせたいな、いきものの ひみつ』など]

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-106	小学校	国語科	国語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	国語 111 国語 112	ひろがることば ひろがることば	しょうがくこくご しょうがくこくご	一上 一下

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

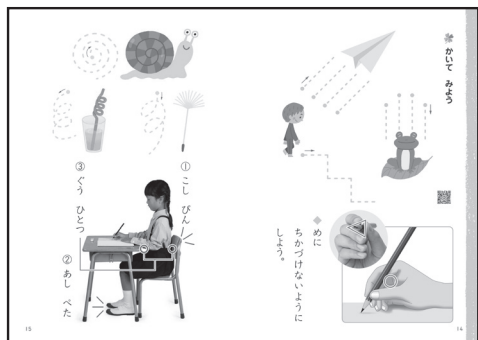
1 学ぶことを楽しめるように——「学びが見える教科書」

安心して学びを始められる「入門期」

- 入門期は夏休み前までとし、平仮名の習得を目ざすとともに、学習を通して伝え合う楽しさを味わうことができるように教材の配列を行いました。



一上表紙裏『なかよしの みち』



一上p14『かいて みよう』

第一教材

- 第一教材では、子どもたちの「気づき」を大切にしました。さまざまな「不思議」がちりばめられたイラストから、子どもたちの言葉をどんどん引き出します。

スタート・カリキュラム教材

- スタート・カリキュラムを意識した教材により、生活科や書写と連携した**合科的な指導**が可能です。

体系的な文字学習

- 清音を学んでから、濁音、半濁音、撥音（ん）、促音（っ）、拗音（ゃ、ゅ、ょ）の学習に進むように、**丁寧な文字学習**の段階をふんでいます。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

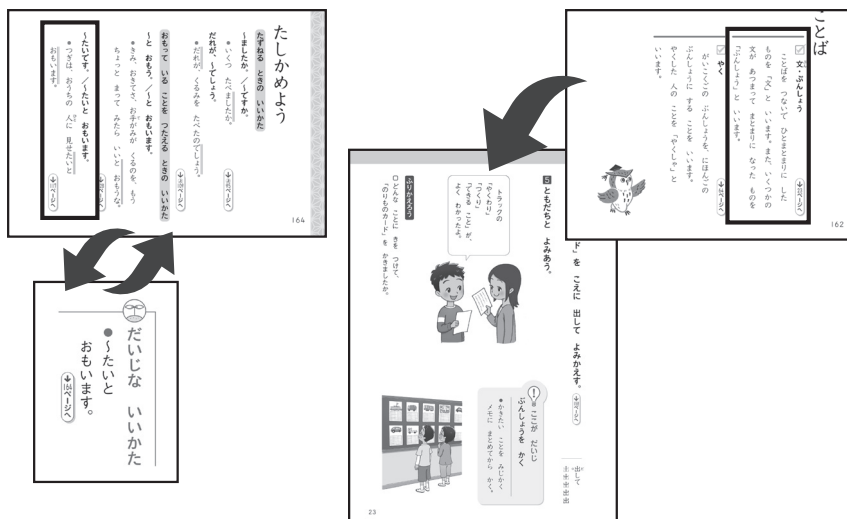
- 文型・話型や学習用語などの汎用的な知識は、巻末に一覧で示し、他の学習場面でも生かせるようにしています。**
- 体系的なまとめと、実際の使用場面とを行き来しながらし、そのはたらきや効果を確かめることができます。

左：一下 p164 『「だいじな いいかた」を たしかめよう』

一下 p117 『おもしろい アルバム』

右：一下 p162 『学ぶ ときに つかう ことば』

一下 p23 『「のりものカード」で しらせよう』



2 学び合いを深められるように ―「学びがわかる教科書」

「主体的・対話的で深い学び」が実現できる教材

*言葉の力を着実に高めるため、指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱えるように教材を配置しています。
*子どもたちは、さまざまな教材を通して、多様な言葉と出会い、言葉の力を育みながら、「言葉の旅」を続けます。

「思考力・判断力・表現力等」の教材について



「話すこと・聞くこと」教材

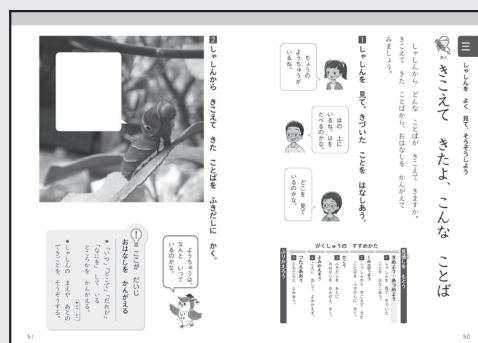
- 日常生活や学校生活に関連した題材を設定し、児童の実生活に結びついた活動になるようにしています。また、目的意識や必然性・必要感を重視した教材を設定し、児童の学習意欲が持続するようにしています。
- 単元教材は、学習指導要領に対応した学習ステップが示され、児童が学習のどの段階にいるのかがわかるようになっています。取り立て小教材では、身につけたい力に特化した学習が行えます。



一下 p24『なにを して いるのかな?』



「書くこと」教材



一下 p50『きこえて きたよ、こんな ことば』

- 「話すこと・聞くこと」では、四系列「日常化を図る系列」「スピーチ系列」「話し合い系列」「説明・報告系列」を設定し、系統的な学習ができるようにしています。
- 「書くこと」では、五系列「日常化を図る系列」「課題追究、論理的に書く系列」「自己を表現する系列」「実用的な書くことの系列」「創作活動の系列」を設定し、系統的な学習ができるようにしています。
- 目的がはっきりした実用的な文章から、自分の心と向き合う自己を表現する文章まで、多様な文種にふれられるようにしています。



「読むこと」教材

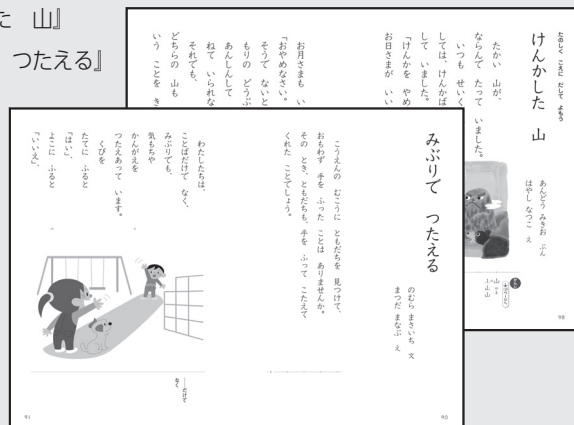
上：一上 p98『けんかした 山』
下：一下 p90『みぶりで つたえる』

〈説明的文章〉

- 学年にふさわしい話題・題材を選び、系統化を図っています。また、説明するということへの認識を深め、説明する力が養えるよう、説明の展開の仕方を単純なものから複雑・高度なものへと、段階的にふれられるように配慮しています。
- 三系列「正確に読み、説明内容を実感をもって捉える系列」「論理を考え、思考力を高める系列」「情報を生かして調べ、交流する系列」を設定しています。

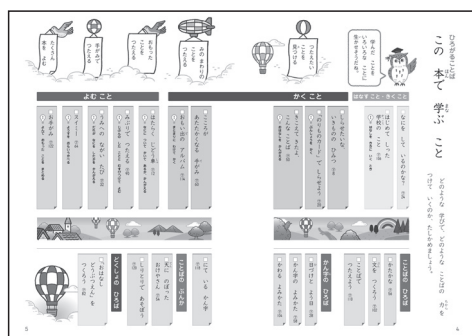
〈文学的文章〉

- 新たな言葉の世界と出会い、読む楽しさを味わうことのできる作品を選定しています。また、作品を読み深めることを通して、自分自身について考えたり、他者との関わり方や、自分を取り巻く社会に目を向け、人としての生き方について学んだりすることができるような作品を、各学年に取り入れています。
- 五系列「登場人物と対話し想像を広げる系列」「命・平和について考える系列」「作品と向き合い感想を深める系列」「読書の世界に広げる系列」「作品と向き合い考えを深める系列」を設定しています。

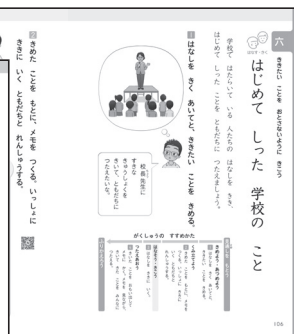
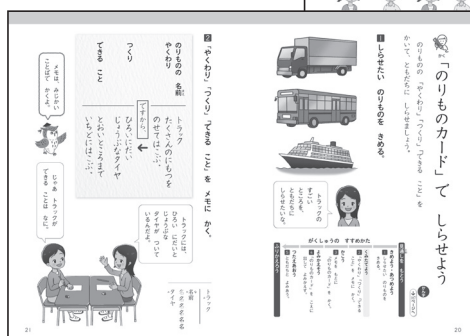


3 学びで世界を広げられるように ――「学びが生きる教科書」

学んだことが生かされた！と実感できる「ひろがる言葉」



一下 p4『この 本で 学ぶ こと』



一下 p140『ひろがることば
これまで これから』

- 一年下巻巻頭には、『ひろがることば この 本で 学ぶ こと』を設け、どんなことを学ぶのか、どんな国語の力が身につくのか、**学習の見通し**をもてるようにしました。
- **他教科や実生活で生かせる言葉の力**を示し、国語という教科にとどまらない、「生きてはたらく言葉の力」の学びを意識できるようにしました。
- 教材の題材には、他教科や実生活で生かせるものを多く取り上げています。**必然性のある学び**は、一人一人の言葉の力の定着を促します。
- 下巻の巻末に**学習したことを振り返る機会**を設けています。どのように学んだのかという観点で振り返り、その後の学習への意欲を高めます。

■検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
①教育基本法	*教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、現代の諸課題に言葉の教育という側面からこたえ、新たな時代を切りひらいていくことのできる児童を育てることを主眼としています。
②学習指導要領	*学習指導要領の教科の目標達成のため、国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養います。系統的な学習を意図して単元のねらいを明確にし、言葉による見方・考え方をはたらかせて、児童が自ら学び、自ら考える力を身につけられるように配慮しています。
2 教科書の構成と内容	
①全体の構成・配列	*指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱い学力向上を図った指導ができるように、体系的な単元構成を意図しています。 *教材は、系統の展開をおさえながら、学年の発達段階や時数に応じた構成にしています。 *各学年の配当時数、発達段階、教材間の連携をふまえて、無理のない数の教材配列を設定しています。
②教材選定	*以下のポイントを考慮した教材選定を行っています。 「不易」と「流行」／豊かな人間性・社会性／多様性への理解／生命の尊重／科学的・論理的な考察／環境教育・自然保護／国際協調や平和／豊かな情操／心の発達／安全・安心・防災／郷土や地域を愛する心／勤労の意義とものづくり／食育／先達の言葉や生き方にふれる／情報活用／プログラミング的思考／メディアリテラシーへの配慮
③他教科等との関連	*話題・題材や言語活動など、多様な観点から、他教科の学習で活用できるように配慮しています。 *カリキュラム・マネジメントへの対応として、表現に関する教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟に取り組むことにより、他教科の学習を支えることができるよう考慮されています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実生活で生きる言葉の力を育むことにも通じています。 社会科：「話すこと・聞くこと」話し合い・討論の系統／「書くこと」意見文の系統 生活科・理科：「書くこと」の各単元（記録文・報告文） 理科および社会科・総合：説明的文章 道徳：教育基本法や学校教育法への対応を踏まえ、生命・平和・友情・福祉・環境・公共・心の発達などに関わる話題・題材を取り上げています。
④学習の系統性の重視	*生きてはたらく言葉の力を育てる言語活動を開発し、各学年に系統的に位置づけています。 *知識・技能、思考力・判断力・表現力等の学習が、バランスよく学期の中に位置づけられるように配慮しています。また、全単元に、その単元の学習目標・学習のめあてや、学習の手だてを明示し、学習の系統化や重点化を図っています。

⑤学習過程の明確化	* 単元学習において、具体的な言語活動を児童がわかるように目標として設定し、学習の展開や段階を明示して見通しをもちやすくしたり、重点化を図って取り立てたりするなど、学習を可視化しています。
⑥言語活動の充実	* 課題をふまえ、次のような観点から言語活動を設定しました。 課題を解決するために必要な、思考力・判断力・表現力等を身につけることのできる言語活動。 言語や言語活動に関する意識を育て、基礎的・基本的能力を習得する言語活動。 児童が自ら課題を捉え、追究し、日常の言語生活に活用することのできる言語活動。 児童の関心・意欲を契機とする、学習活動の展開の工夫。 豊かな言語生活への展開を志向する、学習の生活化・総合化の工夫。 * 必然性が高く、かつ必要とされる言語活動については、他教科での学習内容も視野に入れながら、学校内、地域など、社会に広がる活動も適切に配置しています。
⑦読書生活の基盤	* 各教材、各学習のさまざまな段階から、読書へと発展させることができるようにしています。 * 学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図るための情報活用教材を、発達段階を考慮しつつ各学年に設けています。また、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、図書紹介を中心とした交流活動を行う読書交流教材を全学年にわたって設けています。夏休み前に、読書生活の充実を図ることを意図した教材を設けています。 * 「読むこと」教材の「てびき」には、その教材の作品と同一の作者・筆者による別作品や、内容や話題、テーマに関連する作品を、表紙の写真と梗概で紹介しています。 * 各巻の付録にも図書紹介のページを設け、多様なテーマの図書を紹介しています。（6 学年合計約 540 冊）
3 文字・表記・図版・資料	
①文字・活字・書体	* 活字は文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、力強い教科書体を使用しました。また、巻末の漢字一覧で掲出している硬筆体は、書写教科書の筆者の文字を使用し、学習上の関連を図っています。
②ユニバーサルデザインフォント	* デジタル機器で表示した場合にも視認性が高く、読みやすいフォントを採用しています。
③表記・表現	* 表記・表現については、全学年にわたって統一的なルールのもと、正しい表記の仕方・用法が身につくように学年の発達段階を考慮して提示しています。 分かち書き・文節での改行：児童が読む際に負担とならないように、分かち書きで表記しています。また、改行によりひとまとまりの言葉が分断されることがないように、文節の切れめで改行しています。 交ぜ書きの回避：熟語の形で提出したほうが定着しやすいものは、過度な負担とならないよう考慮しながら、上位学年の漢字であっても適宜振り仮名を使用し、違和感のある交ぜ書きをできるだけ避けるように配慮しています。
④挿絵・図版・写真	* 挿絵・図版・写真は、児童の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや児童の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習上必要なものを効果的に取り上げています。
4 特別支援教育や色覚特性などへの配慮	
①特別支援教育への配慮	* 学習の展開、学習の留意点、メモやカード、ノートなどの制作物の例示は、領域を超えて統一デザインとし、学び方が定着できるように配慮しています。 * 紙面の中の視線の移動や各要素の縦横の混在についても、学習者の混乱を生じさせないよう、配慮しています。
②カラーユニバーサルデザイン	* 色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、児童の負担感をなくす工夫をしています。 * イラストや図版は、内容が区別できるよう色づかいと色彩のバランスに配慮しています。
5 デジタル機器を使用した学習への配慮	
①「まなびリンク」（二次元コード）との連動	* 学習時に参照できる資料等を、ウェブサイトで見られるようにしています。（例：児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等）
②タブレット PC 等の活用	* 発達段階に応じた、タブレット PC 等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。
③デジタル教科書・教材	* 教科書と同内容で特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書を発行します。
6 造本・印刷・デザイン	
①造本・印刷	* 長期間の使用に耐えられるよう、堅牢な方式を採用しています。 * 表紙には、抗菌加工をしています。 * 紙は軽量ながら裏移りのない再生紙、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。
②上下巻 2 分冊構成	* 子どもの身体の発達状況を考慮して、1 冊あたりの重量が軽い上下巻 2 分冊の教科書にしています。半年ごとに新しい教科書に出会い、気持ちを新たに学習に取り組むことができます。
③紙面デザイン	* 読みやすさを配慮した字詰め・行数を採用しています。イラストと文字の空きも十分とり、識別しやすいように配慮しています。 * 学習内容や活動が端的にとらえられるよう、見出しなどを統一的なデザインにし、各要素を適切に配置した紙面にしています。

2. 対照表

該当箇所 (ページ)	図書の構成・内容	学習指導要領の内容				配当時数					
		知識 及び技能	思考力、判断力、表現力			知・技	話・聞	書く	読む	計	
			話すこと ・聞くこと	書くこと	読むこと						
上表2	(入門第一) なかよしの みち	(1)イ			(1)イ(2)イ				3	3	
上 6	あかるい あいさつ	(1)イ	(1)ウ(2)ア				2			2	
上 8	わたしの なまえ	(1)イ	(1)ウ(2)ア				2			2	
上 10	おはなし たくさん ききたいな	(3)エ			(2)イ	2				2	
上 12	こえの おおきさ どれくらい		(1)ウ(2)ア				1			1	
上 14	◆かいて みよう	(1)ウ				3				3	
上 18	こえを あわせて あいうえお	(1)フ	(1)ウ(2)ア				1			1	
上 20	あいうえおを つかおう	(1)イ				1				1	
上 22	みつけて はなそう、はなしを つなごう	(1)ア	(1)オ(2)イ				3			3	
上 24	◆かきと かぎ	(1)ウ		(2)フ		1		1		2	
上 26	ことばを あつめよう	(1)オ				2				2	
上 28	くまさんと ありさんの ごあいさつ	(1)フ			(1)イ(2)イ				3	3	
上 32	◆ねこと ねっこ	(1)ウカ		(2)フ		1		1		2	
上 34	ほんを よもう	(3)エ			(2)イ	3				3	
上 36	ことばを つなごう	(1)オ		(2)フ		1		1		2	
上 38	たのしく よもう 1 あいうえおの うた	(1)フ				1				1	
上 40	◆ごじゅうおん	(1)ウ				1				1	
上 42	けむりの きしゃ	(1)フ			(1)イ(2)イ				5	5	
上 48	◆のぼす おん	(1)ウ				2				2	
上 50	せんせい、あのね	(1)カ		(1)ア(2)ア				3		3	
上 52	みんなに はなそう	(1)キ	(1)ア(2)ア				4			4	
上 54	たのしく よもう 2 がぎぐげごの うた	(1)フ				1				1	
上 56	よく みて かこう	(1)ア		(1)ア(2)ア				4		4	
上 58	すずめの くらし	(1)ウ			(1)ア(2)ア				6	6	
上 64	◆しゃ、しゅ、しょ	(1)ウ				2				2	
上 66	たのしく よもう 3 きゃきゅきょの うた	(1)フ				1				1	
上 68	しらせたい ことを かこう	(1)ウ		(1)ア(2)ア				9		9	
上 72	◆は、を、へ	(1)ウ		(2)フ		1		1		2	
上 74	としょかんへ いこう	(3)エ			(2)イ	2				2	
上 75	おはなしの くに	(3)エ			(1)イ(2)イ	2				2	
上 82	おおきな かぶ	(1)フ			(1)イ(2)イ				6	6	
上 92	えにっきを かこう	(1)ウ		(1)イ(2)イ				4		4	
上 94	なつの おもいでを はなそう	(1)イ	(1)アエ(2)ア				5			5	
上 96	◆かたかなの ことば	(1)ウ				2				2	
上 98	けんかした 山	(1)エ			(1)イ(2)イ				8	8	
上 105	◆かん字の はじまり	(1)エ				2		1		3	
上 108	だれが、たべたのでしょうか	(1)カ			(1)ア(2)ア				7	7	
上 116	たのしかった ことを かこう	(1)ウ		(1)アイ(2)ア				12		12	
上 120	◆かぞえよう	(1)エ(3)イ				5				5	
下 6	あめの うた つるみ まさお	(1)フ			(1)エ(2)イ				2	2	
下 8	しらせたいな、いきものの ひみつ	(1)ウ		(1)ア(2)ア				6		6	
下 12	はたらく じどう車	(1)オ			(1)ウ(2)ア				6	6	
下 20	「のりものカード」で しらせよう	(1)ウ		(1)イ(2)ア				10		10	
下 24	なにを して いるのかな？	(1)オ	(1)ア(2)イ				5			5	
下 28	かん字の ひろば① 日づけと よう日	(1)エ				2				2	
下 32	うみへの ながい たび いまえ よしとも	(1)フ(2)ア			(1)イ(2)イ			4	6	10	
下 50	きこえて きたよ、こんな ことば	(1)ウ		(1)ア(2)ウ				6		6	
下 54	ことばの ぶんか① 天に のぼった おけやさん	(3)ア				2			1	3	
下 56	ことばの ひろば① かたかな	(1)ウ				2				2	
下 58	かん字の ひろば② かん字の よみかた	(1)エ				2				2	
下 60	ところが あたたかくなる 手がみ	(1)ア		(1)エ(2)イ				4		4	
下 64	スイミー レオ＝レオニノたにかわ しゅんたろう やく	(3)エ			(1)エ(2)イ				6	6	
下 82	どくしよの ひろば 「おはなしどうぶつえん」を つくろう	(3)エ			(1)カ(2)イウ	1			3	4	
下 86	しを よもう ゆき かわさき ひろし	(1)フ			(1)エ(2)イ				1	1	
下 90	みぶりで つたえる のむら まさいち	(1)ア			(1)オカ(2)ア			5	9	14	
下 102	ことばの ひろば② 文を つくろう	(1)カ				1				1	
下 104	かん字の ひろば③ かわる よみかた	(1)エ				2				2	
下 106	はじめて した 学校の こと	(1)イ	(1)エ(2)ア				8			8	
下 110	ことばの ひろば③ ことばで つたえよう	(1)ア				3				3	
下 114	おもい出の アルバム	(1)ウ		(1)ウオ(2)ア				8		8	
下 118	かん字の ひろば④ にて いる かん字	(1)エ				3				3	
下 120	ことばの ぶんか② しりとりで あそぼう	(1)イ(2)イ				1				1	
下 122	お手がみ アーノルド＝ノーベル／みき たく やく	(1)カ			(1)オカ(2)イ			5	10	15	
下 140	ひろがる ことば これまで これから		(1)エ(2)ア	(1)ア(2)ア			1	1		2	
計						55	32	86	82	255	
* 授業時数の配分は、学校行事等を考慮し、ゆとりをもって作成してあります。							書写および予備				51
* 表内の「学習指導要領の内容」の記載は、その教材の重点指導事項のみを示しています。							総計				306